

放射線影響の分類

		潜伏期間	例	線量反応関係※2
影響の出現	身体的影響	数週間以内 = 急性影響 (早期影響)	急性放射線症※1 急性皮膚障害	細胞死/細胞変性 で起こる 確定的影響
		数か月以降 = 晩発影響	胎児の発生・発 達異常(奇形)	突然変異で起こる 確率的影響
	水晶体の混濁			
	遺伝性影響	がん・白血病	遺伝性疾患	



※1：主な症状としては、被ばく後数時間以内に認められる嘔吐、数日から数週間にかけて生じる下痢、血液細胞数の減少、出血、脱毛、男性の一過性不妊症等。

※2：一定量以上の被ばくがないと発生しない。